

わかあゆ

<http://www.ota.ed.jp/minami/>

世の中の役に立つ人づくり

一世のため人のためふるさとのために

東日本大震災被災者等に常に思いを馳せ、生かされていることに感謝し、自他ともによりよく生きようとする子

「未来を拓く特別授業」

～夢をかなえるために～



11月8日(金)5校時に全校児童を対象にキャリア教育の一環として「未来を拓く特別授業」を行いました。講師には、太田市立南中学校出身のプロのヴァイオリニストであり、現在はフィンランドのオーケストラのコンサートマスターとして活躍している城代さや香さんをお招きしました。当日は、「君をのせて」「チャルダッシュ」「こねこのワルツ」「となりのトトロ」「千と千尋の神隠し」

「あまちゃんのテーマソング」等を演奏していただくとともに、日々の生活の中で次はこうしてみようという目標を持つことや自分の道を切り開くためには毎日努力を積み重ねることが大切であることをお話しいたきました。



「感謝の集い」

～毎日お世話になります～



11月26日(火)朝、児童会主催で「感謝の集い」を行いました。今年は、登下校の交通安全や防犯でお世話になっている学校支援隊の皆さんをお招きして、全校児童による歌のプレゼントや児童会企画委員作成の感謝状とメダル等で、感謝の気持ちをお伝えしました。日頃、大変お世話になっている学校支援隊の皆さんのお陰で、子どもたちが安全に登下校できますことに心より感謝申し上げます。

「全国学力・学習状況調査」の結果分析

6年生が実施した全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組がまとまりましたので、ご報告いたします。これは6年間をかけて本校が指導してきた結果であることから、本校が取り組んできた学習指導や生活指導等の成果と課題であると受け止めています。したがって、この結果には本校の傾向が表れていると考えられますので、全学年の保護者に結果のご報告をいたします。

I 全国学力・学習状況調査の結果分析

1 教科に関する調査から

<国語A（主として知識）>

領域別に見ると「書くこと」「聞くこと・話すこと」において課題が多いことがわかりました。資料からわかったことを的確に書く力が不足していると考えられます。

<国語B（主として活用）>

領域別に見ると「書くこと」「読むこと」において課題が多いことがわかりました。全国より無答の割合が高く、問題に根気強く取り組む力が不足していると考えられます。

<算数A（主として知識）>

17問中12問が全国平均を上回っており、良好な結果でした。基礎的な計算や展開図、百分率による割合計算については、よく理解されていました。単位量あたりの計算や分数の計算、四捨五入、合同な図形において理解不十分な点が見られました。

<算数B（主として活用）>

全国を上回っている問題が13問中3問で、筋道を立てて考え、説明する力に課題が見られました。また、全国より無答の割合が高く、問題に根気強く取り組む力が不足していると考えられます。

2 児童・生徒質問紙調査から

「朝食を毎日食べていますか」「将来なりたい職業はありますか」「学校で友だちに会うのは楽しいと思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対しては、意識が高いことがわかりました。「家での勉強や予習復習について」の質問に対しては、いずれも全国より下回っていました。

II 今後の取組

「教育課程（授業改善）」

- ・国語では、指導事項を系統的に明らかにして、単元を貫く言語事項について明記し、教育課程に反映させていきます。
- ・国語、算数ともに、自分の考え方をノートに記録するなど、ノート指導や「書くこと」を意図的に取り入れた授業改善をしていきます。

「指導体制」

- ・国語、算数、道徳の3つの部会別に研修を進め、研修結果を互いに共有し合い、指導に生かしていきます。
- ・初任者から五年目、十年目研修を進め、指導員を中心に若手を育てていきます。
- ・担任外の教師と連携し、休み時間や放課後の時間を有効に活用していきます。

「教員の指導力の向上」

- ・一人1回以上授業を公開し、互いに参観し、検討し評価し合うことを通して指導力の向上を目指していきます。

「家庭・地域との連携」

- ・家庭学習の手引きの活用と改善を繰り返し、担任がチェックするだけでなく、家庭でもチェックできるようにしていきます。